

ファンシー・ナンシー・マンダラ

デザイン：Dedri Uys

©Dedri Uys 2020. All Rights Reserved.
Tested by @lynnettelau and @annamoore3 on Instagram.
Japanese translation by Masako Kawahara (VJ_1 20240531)



ハッシュタグ： #fancynancymandala

難易度

中級

材料

- ・ かぎ針 5/0号**
- ・ 糸（メインカラー） Scheepjes Catona, 100 % Cotton, 50g/125m
糸 A - 130 Cream
- ・ 糸（差し色）： Scheepjes Catona, 100 % Cotton, 10g/25m
糸 B - 208 Yellow
糸 C - 222 Medium Pink
糸 D - 114 Dark Pink
糸 E - 146 Turquoise
糸 F - 397 Light Blue
糸 G - 245 Green
- ・ 外径約3mmのビーズ 12 個
- ・ 枠に編み付ける場合 完成サイズ（ブロック済み）より1cm大きい枠

**指定のかぎ針サイズでゲージが合わない場合は、ご自身に合ったサイズに変更してください。

ゲージ

4段目までのサイズは直径約5cm



出来上がりサイズ

約15cm

使用する基本の編み方

(英語はアメリカ式の略語)

Ch – 鎖編み

Dc – 長編み

Hdc – 中長編み

Sc – 細編み

Sl st – 引き抜き編み

Tr – 長々編み

Sp/sps – 鎖編みでできるスペース

St/sts – 目

区切り記号

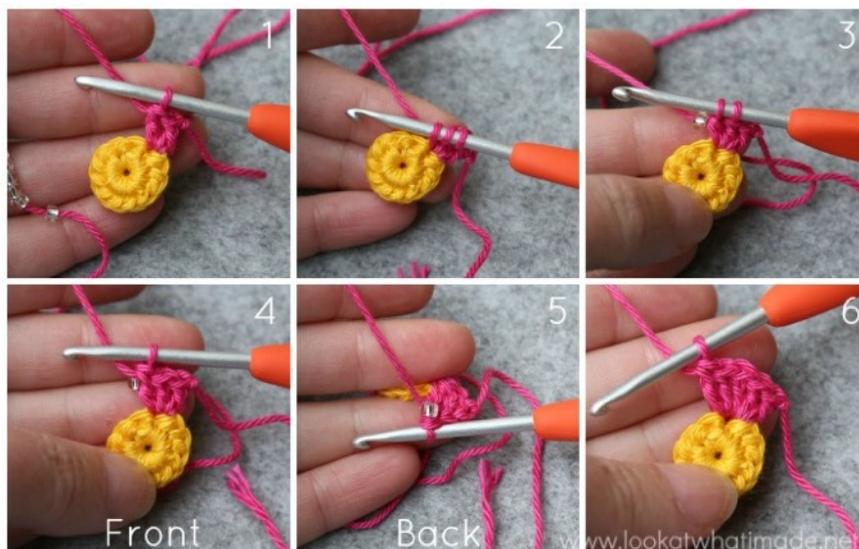
* 繰り返しを表します。*と*の間に書かれた指示を、指定された回数分繰り返します。一番上のレベルの繰り返しで使われます。*で囲まれる内側には、通常、複数の指示が記載されます。

括弧 () 繰り返しを表します。() 内に書かれた指示を、指定された回数分繰り返します。一番下のレベルの繰り返しになります。

大括弧 [] ひとつの目や鎖編みスペースに対して [] 内に書かれた目を編みます。

特別な編み方

ビーズ付きシェル編み (BDC) – 指定された目/スペースに長編み2目 {写真1}。糸をかけ、同じ目/スペースにかぎ針を入れ、糸をかけてループを引き出します {写真2}。糸をかけて、かぎ針にかかった2本きループを引き抜きます。ビーズ1個をかぎ針の近くに移動します {写真3}。糸をかけて、残りの2本のループを引き抜き、ビーズを固定します {写真4と5}。同じ目/スペースに長編み2目を編みます。



長編み2目一度 (Dc2tog) – かぎ針に糸をかけて、指定された目に入れ、糸をかけて引き抜きます。糸をかけて2本のループを引き抜きます。かぎ針に糸をかけて次の目に入れ、糸をかけて引き抜きます。糸をかけて2本のループを引き抜きます。糸をかけて、残りの3本のループを引き抜きます。

長編み3目一度 (Dc3tog) – かぎ針に糸をかけて、指定された目に入れ、糸をかけて引き抜きます。糸をかけて2本のループを引き抜きます。(かぎ針に糸をかけて、次の目に入れ、糸をかけて引き抜きます。糸をかけて2本のループを引き抜きます。) **x2回**。かぎ針に糸をかけて、残りの4本のループを引き抜きます



表引き上げ編み (FP/Front Post) – 指定された目の足にかぎ針を表から裏に向かって入れ、その後、裏から表に出します。このとき、足の部分がかぎ針の上に乗った状態になっています。その後は、指定された基本の編み方で編み目を完成させます。

シェル編み (Shell) – 指定された目/スペースに長編み5目を編みます。

スタンディング編み (Standing stitches) – スタンディング編みは、編みはじめる時点で前の目がないこと以外は、通常の編み方と同じです。かぎ針に作り目をした状態から、通常目の編む手順で編みます。

長々編み3目の玉編み (3-tr Bobble) – かぎ針に糸を2回かけ、指定の目/スペースに入れます。糸をかけて1本のループを引き抜きます。(糸をかけて、2本のループを引き抜きます) **×2回**。*かぎ針に糸を2回かけ、同じ目/スペースに入れます。糸をかけて1本のループを引き抜きます。(糸をかけて、2本のループを引き抜きます) **×2回*** *~*をもう一度繰り返します。かぎ針に糸をかけ、残っている4本のループを引き抜きます。

その他

色を替える手順

新しい色の糸を使うときは、前の色の糸で編む**最後の目の最後のループ**を引き抜くときに替えます。具体的には、かぎ針に最後の2本のループがかかった状態で {写真1}、これまで編んでいた糸から新しい糸に替えて {写真2}、かぎ針にかかっている2本のループを新しい糸で引き抜きます {写真3}。次の目の頭部分が新しい色になります {写真4と5}。



糸を渡す

使わない色の糸は、いつでも新しい色の糸で編み包みます。ただし、次の場合を除きます。

- ・ 8段目のように、別の指示があるとき
- ・ 表引き上げ編みを編むとき
- ・ 1目だけを別の糸で編むとき

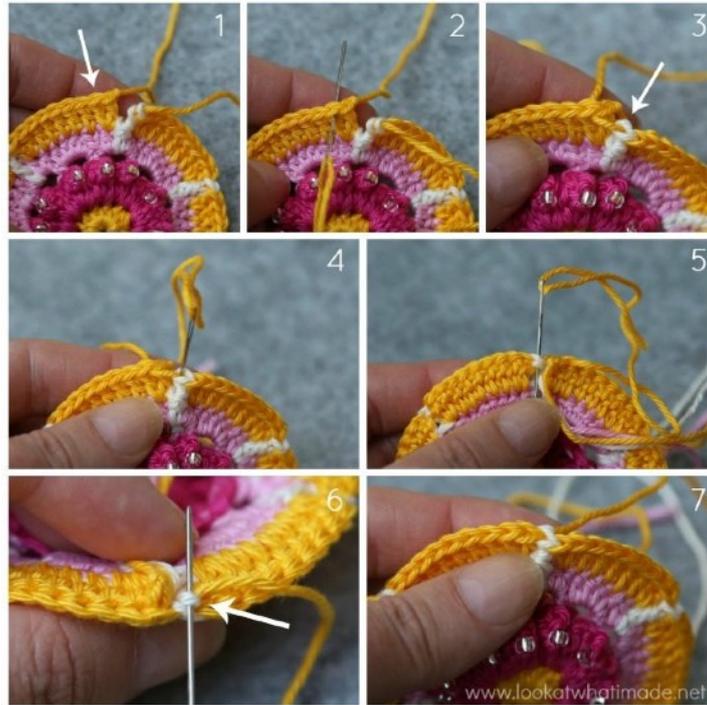


インビジブル・ジョイン（目立たないつなぎ方）

1段を編み終わったら、糸を10cmほど残して切ります。糸を最後の目から引き抜いて、とじ針に通します。編みはじめから**2番目の頭の両方のループ**に針を通します。このとき、編みはじめの目の上側を糸が渡ります【写真1の矢印と写真2】。糸を引くときに、強く引きすぎないように注意してください【写真3】。

最後の目の頭に針を入れ【写真3の矢印、写真4、写真5（裏側からみたところ）】、針をまっすぐ下に通します。頭のループだけでなく、その下にあるループにも針を通してください。糸をゆっくり引き、周囲の目と同じ大きさになるように調整します【写真7】。最初の目の上に別の目ことができました。

緩まないように針をもう一度通してから、糸端をしまつします【写真6】。



編み図記号

○ Magic ring	⌣ Double crochet	🏠 Shell
• Slst	⌣ Dc2tog	🏠 Beaded Shell
0 Ch	⌣ Dc3tog	🏠 Popcorn created from Shell/ Beaded Shell
+ Sc	∇ 2 dc in st/sp	🏠 3-tr Bobble
⌣ FPsc	⌣ FPdc	⌣ Tr
⌣ Hdc	⌣ FPdc2tog	⌣ FPtr
∇ 2 hdc in st/sp		

図の英文の説明（上段、左から右に）

Magic ring（わ）、Double crochet（長編み）、Shell（シェル編み）

Slst（引き抜き編み）、Dc2tog（長編み2目一度）、Beaded Shell（ビーズ付きシェル編み）

Ch（鎖編み）、Dc3tog（長編み3目一度）、Popcorn created from Shell/Beaded Shell（シェル編みから作るパプコーン編み）

Sc（細編み）、2 dc in st/sp（長編み増し目）、3-tr Bobble（長々編み3目の玉編み）

FPsc（表引き上げ編み 細編み）

Hdc（中長編み）、FPdc（表引き上げ編み 長編み）、Tr（長々編み）

2hdc in st/sp（中長編み増し目）、FPdc2tog（表引き上げ編み 長編み2目一度）、FPtr（表引き上げ編み 長々編み）



編み方

糸Bを使います。糸を指に巻くか（マジックリング）、鎖4目を編み、最初の鎖編みに引き抜いて輪を作ります。

1 段目（糸B 写真は黄色）

わに鎖1目（1目としてカウントしません、これ以後も同様）、中長編み12目を編みます。糸Bを切り、最初の中長編みの上に目立たないつなぎ方でつなぎます（その他の「目立たないつなぎ方」参照）。編み地を裏返す。

目数: 中長編み12目

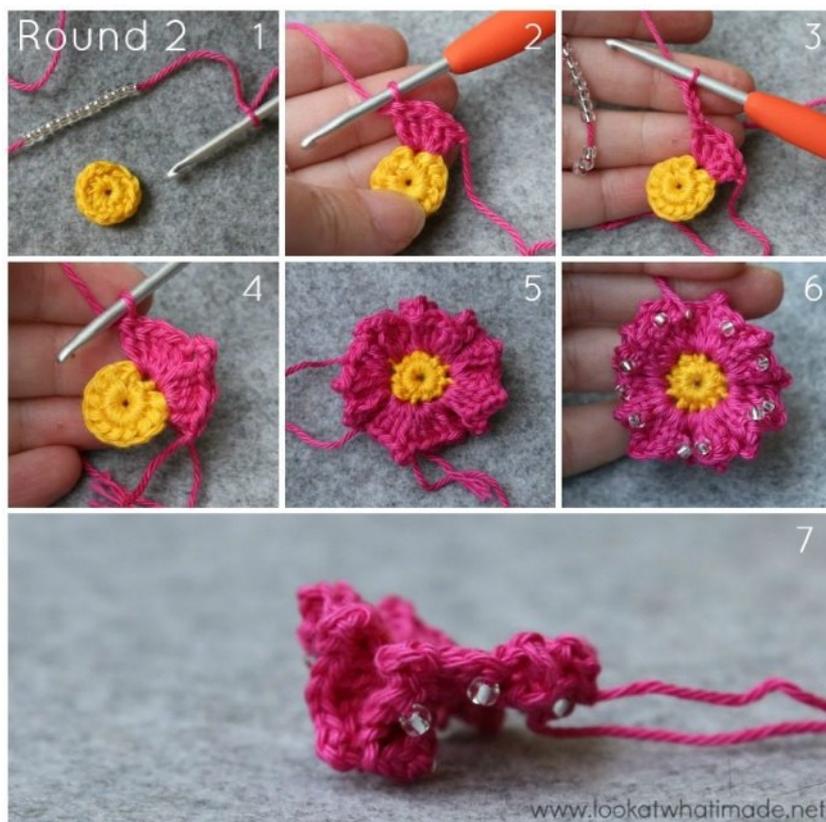
2 段目（糸D 濃いピンク）

編み地の裏を上にして編みます。糸Dにビーズ12個を通してから、かぎ針に作り目。1段目のどの目からはじめてもかまいません。スタンディング編みで、ビーズ付きのシェル編み {写真1と2}。

（鎖3目、次の目にビーズ付きシェル編み {写真3と4}）×11回。鎖3目。糸Dを切り、最初の長編みの上に目立たないつなぎ方でつなぎます {写真5}。編み地を裏返す {写真6}。

目数: シェル編み 12、鎖3目スペース12

注意 シェル編みによって次の目が見えにくいので、目を飛ばさないように注意してください。次の段に進む前に、シェル編みと鎖3目のスペースが12個ずつあることを確認しましょう。この段が終わった時点では、編み地はきれいではありません {写真7}。



3 段目（糸C 薄いピンク）

前段のシェル編みに〈表引き上げ編み〉細編みを編んでパブコーン編みにします。シェル編みの手前の鎖スペースに表側から裏側にかぎ針を入れ {写真1}、シェル編みの後の鎖スペースに裏側から表側にかぎ針を出します {写真2}。その後は通常の手順で細編みを完成させます。糸をしっかり引いてパブコーン編みの形がきれいになるようにしてください {写真3と4}。



編み地の表を上にして編みます。糸Cでかぎ針に作り目。スタンディング編みで、シェル編みに〈表引き上げ編み〉細編み〔写真1 - 4〕。

鎖3目〔写真5〕。(次のシェル編みに〈表引き上げ編み〉細編み、鎖3目) × 11回。最初の細編みに引き抜きます。

目数: 〈表引き上げ編み〉細編み12目、鎖3目スペース12

中央部分が盛り上がりますが、予定通りです〔写真7と8〕。



4 段目 (糸CとA 薄いピンクと白)

次の鎖3目スペースに引き抜きます {写真1の矢印}。鎖1目 (1目としてカウントしません)、同じ鎖3目スペースに中長編み4目。

次の鎖3目スペースに [中長編み2目、糸Aに替えて、長編み1目、糸Cに替えて、中長編み1目] {写真2}。次の鎖3目スペースに中長編み4目

*~*をさらに4回繰り返します。最後の鎖3目スペースに [中長編み2目、糸Aに替えて、長編み1目、糸Cに替えて、中長編み1目]。糸Cを切り、最初の中長編みの上に目立たないつなぎ方でつなぎます。このとき、糸Aが編み地の後ろ側にあることを確認しましょう {写真4}。

目数: 中長編み42目、長編み6目



編み図のRepeatsの部分を繰り返します。

5 段目 (糸BとA 黄色と白)

注意 (これ以降の段でも気をつけてください) 2色の糸を使う段のはじまりでは、できるだけ前の段に近づけて編んでください。最初の (スタンディング編みの) 目は、糸Aを覆うように編むことで、裏側に糸が渡らないようにします {写真1}。

ここからは、各段の編みはじめの目を明記します。わかりにくいときは、繰り返しの部分を編む前にマーカーを付けておきましょう。

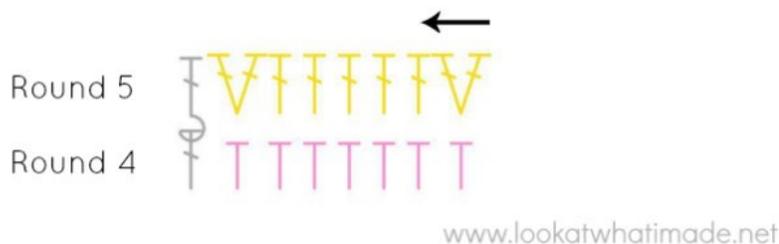


かぎ針に糸Bで作り目をし、最後の〈糸Aの長編み〉の次の〈糸Cの中長編み〉に、スタンディング編みではじめます。

次の目に長編み2目〔写真2〕、その次の5目に長編みを1目ずつ、その次の目に長編み2目。糸Aに替えて、次の〈糸Aの長編み〉に〈表引き上げ編み〉長編み〔写真3〕。糸Bに替える

*~*をさらに5回繰り返します。糸Bを切り、最初の長編みの上に目立たないつなぎ方でつなぎます（この後も同様のつなぎ方をします）。糸Aは編み地の後ろ側に移動します〔写真4のように編み地の手前ではなく、写真5のように後ろ側に移動しておくこと〕。

目数: 長編み54目、〈表引き上げ編み〉長編み6目



6 段目 (糸GとA 黄緑色と白)

かぎ針に糸Gで作り目をし、最後の〈糸Aの表引き上げ編み 長編み〉の後の2番目の〈糸Bの長編み〉に、スタンディング編みではじめます。

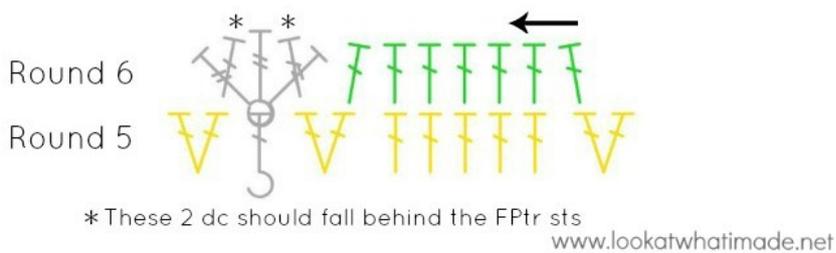
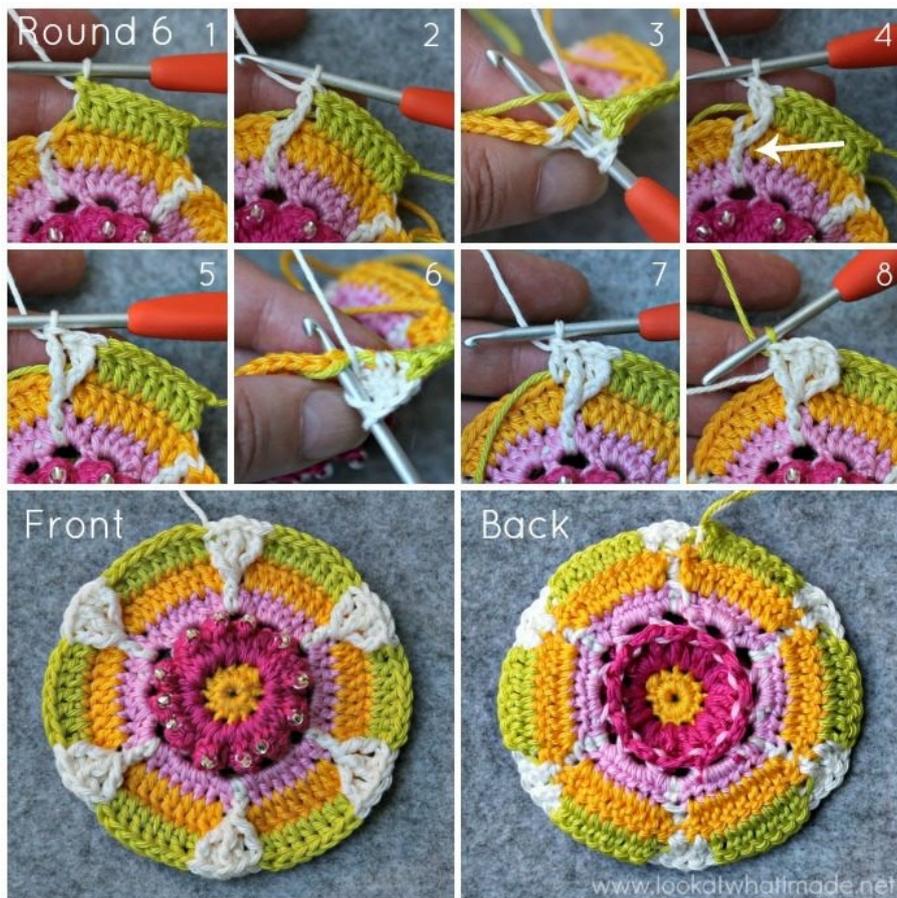
*次の7目に長編みを1目ずつ〔写真1〕。糸Aに替えて、次の目を飛ばし、その次の〈表引き上げ編み〉長編みに〈表引き上げ編み〉長々編み〔写真2〕。直前に編んだ〈表引き上げ編み〉長々編みの後ろ側から、飛ばした長編みに長編み1目〔写真3と4〕。同じ〈表引き上げ編み〉長編みに〈表引き上げ編み〉長々編み〔写真4の矢印と5〕。次の〈糸Bの長編み〉に長編み1目〔写真6と7〕。直前に編んだ長編みの前側から、



すでに〈表引き上げ編み〉長々編み2目が編まれた〈表引き上げ編み〉長編みに〈表引き上げ編み〉長々編み〔写真8〕。糸Gに替える*

*~*をさらに5回繰り返します。糸Gを切り、最初の長編みの上に目立たないつなぎ方でつなぎます。

目数: 長編み54目、〈表引き上げ編み〉長々編み18目



*が付いた長編みは、〈表引き上げ編み〉長々編みの後ろ側に編みます。

7 段目 (糸FとA 薄い水色と白)

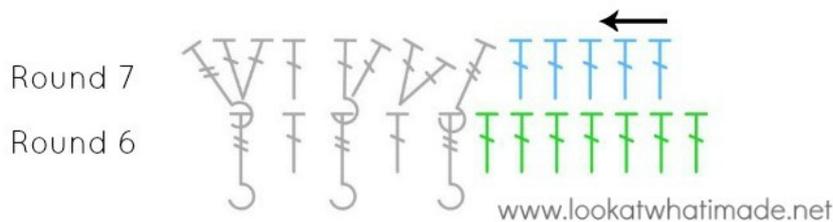
かぎ針に糸Fで作り目をし、最後の〈糸Aの表引き上げ編み 長々編み〉の後の2番目の〈糸Gの長編み〉に、スタンディング編みではじめます。

次の5目に長編みを1目ずつ〔写真1〕。糸Aに替えて、次の糸Gの目を飛ばし、その次の〈表引き上げ編み〉長々編みに〈表引き上げ編み〉長々編み〔写真2〕。次の長編みに長編み2目〔写真3〕。次の〈表引き上げ編み〉長々編みに〔長編み1目、〈表引き上げ編み〉長編み1目〕〔写真4〕。次の目に長編み1目〔写真5〕。次の〈表引き上げ編み〉長々編みに〔長編み2目、〈表引き上げ編み〉長編み1目〕〔写真6と7〕。糸Fに替え、次の糸Gの目を飛ばす〔写真8〕

*~*をさらに5回繰り返します。糸Fを切り、最初の長編みの上に目立たないつなぎ方でつなぎます。

目数: 長編み66目、〈表引き上げ編み〉長編み6目、〈表引き上げ編み〉長々編み12目





8 段目（糸EとA 濃い水色と白）

この段の玉編みは、編み入れる位置に気をつけてください。

かぎ針に糸Eで作目をし、最後の〈糸Aの表引き上げ編み 長々編み〉の後の2番目の〈糸Fの長編み〉に、スタンディング編みではじめます。

*次の3目に長編みを1目ずつ【写真1】。糸Aに替えて、次の糸Fの目を飛ばし、その次の〈表引き上げ編み〉長々編みに〈表引き上げ編み〉長々編み。次の長編みに長編み2目【写真2】。糸Eに替えて、次の2目を飛ばす。糸Aの前側から、次の〈表引き上げ編み〉長編みに長々編み3目の玉編み【写真3と4】。糸Aに替えて、鎖3目。同じ〈表引き上げ編み〉長編みに〔〈表引き上げ編み〉長々編み1目、鎖1目、〈表引き上げ編み〉長々編み1目〕、鎖3目。糸Eに替えます。玉編みの間に十分なゆるみが残るようにしてください【写真5】。

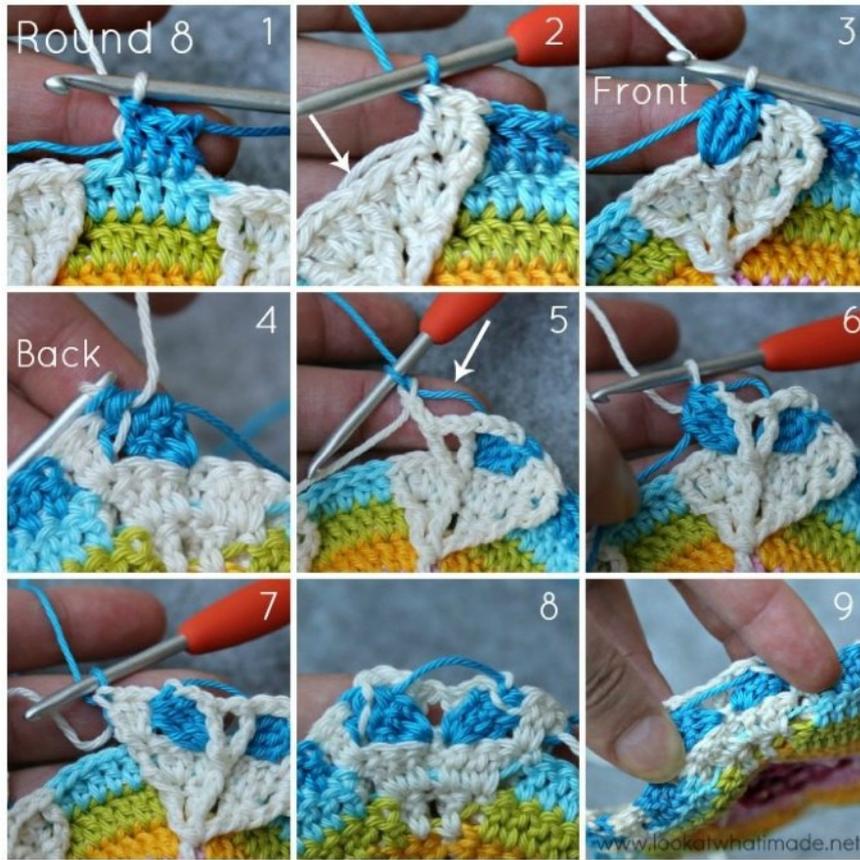
糸Aの前側から、次の目に長々編み3目の玉編み【写真6】。糸Aに替えて、次の2目を飛ばし、その次の〈表引き上げ編み〉長々編みに〔長編み2目、〈表引き上げ編み〉長々編み1目】【写真7】。糸Eに替えて、次の糸Fの目を飛ばす*

*～*をさらに5回繰り返します。糸Eを切り、最初の長編みの上に目立たないつなぎ方でつなぎます。

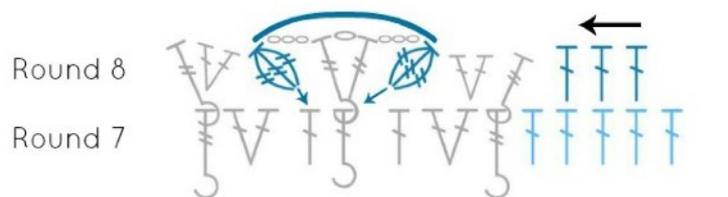
目数: 長編み42目、長々編み3目の玉編み12目、〈表引き上げ編み〉長々編み24目、鎖1目スペース6、鎖3目スペース12

写真7と8は、編み地の裏側の糸Eの糸のゆるみを示しています（編み地が伸びても十分な長さがあります）。





下の写真では、わざとループを引き出して目立つようにしています。上の写真9がより実際に近い状況です。



Leave enough slack in Yarn E to be able to stretch between Bobbles without pulling in the Yarn A part between them

玉編みの間に十分なゆるみが残るようにします。

www.lookatwhatimade.net



9 段目 (糸DとA 濃いピンクと白)

かぎ針に糸Dで作目をし、最後の〈糸Aの表引き上げ編み 長々編み〉の次の〈糸Eの長編み〉に、スタンディング編みではじめます。

*長編み3目一度 {写真1}。糸Aに替えて、次の〈表引き上げ編み〉長々編みに〈表引き上げ編み〉長々編み、その次の長編みに長編み2目、その次の長編みに長編み1目 {写真2}。前段の目の前側から、7段目で飛ばした次の長編みに長々編み1目 {写真3の矢印と4と5}。

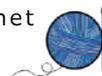
このあとは、前段でゆるみをもたせておいた糸Eを編み包みながら進めてください。

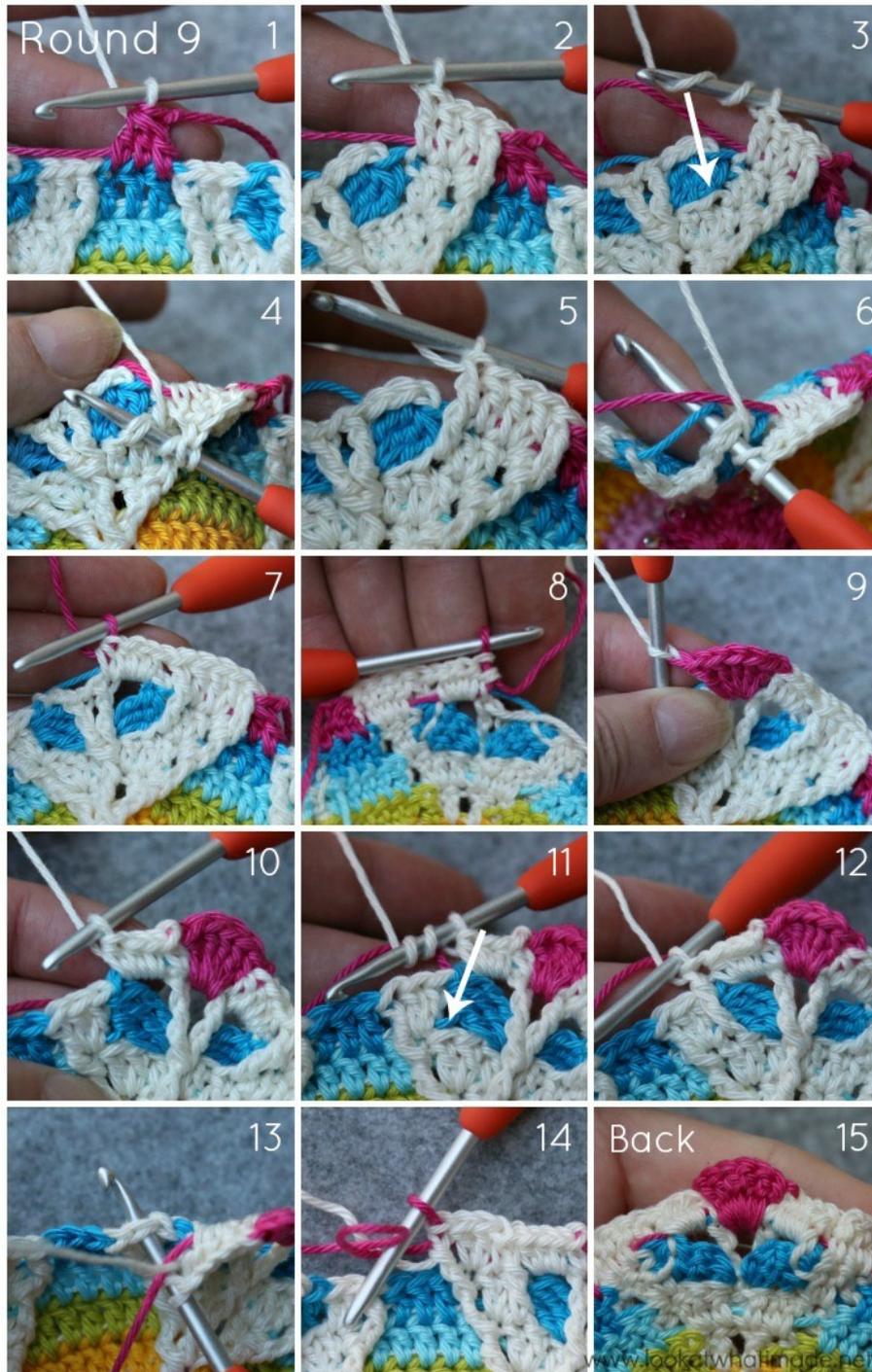
次の鎖3目スペースに中長編み3目、その次の〈表引き上げ編み〉長々編みに中長編み1目 {写真6 - 8、写真8は編み地の裏側です}。糸Dに替えて、鎖1目。次の鎖1目スペースにシェル編み、鎖1目 {写真9}。糸Aに替えて、次の〈表引き上げ編み〉長々編みに中長編み1目、その次の鎖3目スペースに中長編み3目 {写真10}。裏側にある糸Eの糸が隠れていることを確認してください {写真15}。

前段の目の前側から、7段目で飛ばした2番目の長編みに長々編み1目 {写真11の矢印と12}。8段目の次の長編みを飛ばし {写真13}、次の長編みに長編み1目、次の〈表引き上げ編み〉長々編みに [長編み2目、〈表引き上げ編み〉長々編み1目]。糸Dに替える {写真14} *

*~*をさらに5回繰り返します。糸Dを切り、最初の長編みに目立たないつなぎ方でつなぎます。

目数: 中長編み48目、長編み72目、長々編み12目、〈表引き上げ編み〉長々編み12目、鎖1目スペース24





10 段目 (糸A 白)

かぎ針を最後の〈表引き上げ編み〉長々編みに入れ {写真1}、糸Aを編み地の表側に引き出します {写真2}。鎖1目 (1目としてカウントしません)。

* 〈表引き上げ編み〉長々編みに中長編み2目 {写真3}。同じ〈表引き上げ編み〉長々編みと次の〈表引き上げ編み〉長々編みに〈表引き上げ編み〉長編み2目一度。間にある糸Dで編んだ長編み3目一度を飛ばします {写真4}。次の目に中長編み2目、その次の7目に中長編みを1目ずつ {写真5}。次のシェル編みに〈表引き上げ編み〉細編み1目 {写真6-8}。次の (隠れた) 目を飛ばします。次の7目に中長編みを1目ずつ {写真9}。*

*~*をさらに5回繰り返します。



11 段目 (糸A 白)

鎖2目 (中長編み1目としてカウント)。次の12目に中長編みを1目ずつ。最後の中長編みは前段の〈表引き上げ編み〉細編みに編みます (このあとも同様です)。(次の目に中長編み2目、次の19目に中長編みを1目ずつ) **×5回**。次の目に中長編み2目、最後の6目に中長編みを1目ずつ。糸を切り、最初の鎖2目の上に目立たないつなぎ方でつなぎます。他の糸端のしまつをしてください。

目数: 中長編み126目



完成したマンダラを枠に縫いつける

マンダラが完成したらブロッキングをしましょう。枠に縫い付けないときもブロッキングをお勧めします。ブロッキング後に大きさを測ります。マンダラより1cmほど大きい枠を使います。今回のマンダラは出来上がりサイズが約15cmなので、16cmの枠を使用しました。

4本の短い糸で、4カ所で枠に固定します。次に約4mの糸を使って、マンダラをかがり縫いで、枠に縫い付けます。一針ごとに、糸を引き締めてください。一周を縫い終えたら、糸端をマンダラの最後の段に通して見えなくします。

